20170326

結論はミッション（ヨハネ21:15-17）

イエス様は、ペテロが生まれた時から今に至るまでのすべての人生、良いもの、悪いもの、全部合わせて最後に「私の羊を飼いなさい」とミッションを与えてくださいました。結局、先週も申し上げましたように、ミッションが結論としてしっかりまとまる時から本格的な勝利の人生を歩むようになるということです。ペテロは、この時から今までの人生とは全く違う、世の人は真似できない人を生かす、また暗闇の世の中を変えていく人生を歩むようになりました。つまり、ミッションが結論になって、ミッションとくっついて一つになってミッションと絡んでいる人生でなければ、実は正解ではありません。たとえその人が社会的に成功したとしても、経済的に裕福な人であっても、自分なりに法律を守り、人に迷惑をかけずに人を助けながら真面目に生きたとしても、それは正解の人生とは言えないものです。人は生まれた時から神によって作られた存在なので、神様からのミッションによって生きるものなのです。しかし、罪を犯した結果、それとは無縁の人生を正解だと勘違いして、今まで一生懸命がんばってきただけです。イエス・キリストは、私たちの罪を許し、人生全てを総合してまとめて最後に一つの問いかけしかありません。イエスは本当にキリストなのか。そうならば、今までの人生を捨てて、ミッションの人生を生きていきなさいということです。それが人間にとって正解であるし幸せであるので、神様はそれだけは譲ることがありません。私たちが見たときには、良いこと、悪いこと、辛いこと、嬉しいこと、いろいろあるでしょうけれども、その全てを許されて1つの目標をもってミッションの人生を生きてもらうために、それが私たちにとって最高の人生だということを神様ご自身が一番よくご存じであるし、また私たちのことを愛していらっしゃるからそのようになさいます。

今回もリーダーの修練会、またレムナント大会がありました。そこである人からこのような相談がありました。「いっぺんにあらゆることが同時に現れたので四面楚歌のような状態です。なぜこのようになってしまうのでしょうか。私は自分なりに主に仕えるつもりでがんばってきたのですが、家庭の問題、健康の問題、教会内での葛藤などがいっぺんに現れました。それで今大変苦しい状態です。もしかしたら今回の大会でメッセージを聞いて、決着をつけるつもりです」。やるかやめるかとか、いろいろなお話を聞きました。その気持ちは十分理解できるでしょうけれども、結局、まだキリストではないわけです。「私は10年以上キリストを聞いているし、キリストに答えを出していて、神様に仕えるつもりです」。キリストが分かっていれば、そのような不平、不満、文句などは言わないはずです。それはあなたが悪いという意味ではなくて、素直に正直にならないといけないことです。キリストになっていないからではないでしょうか。キリストを知るということは、そんなにたやすいことではありません。だから、あなたの今の辛い状況というのが、実はキリストオンリーになるための神様の配慮なのです。いいか悪いか、辛いから辛くないかなど、もちろん大変でしょう。それを否定するつもりはありません。でも、それが全てちりあくたのようにならなければなりません。キリストオンリーなのです。良いものも悪いものもある正しいものも正しくないものもありません。オンリーキリストなのです。いまだに引っかかっているものが多いのです。

そして、なぜそのようにしてまでキリストオンリーにしようとしていらっしゃるのでしょうか。そこだけに、神様によって作り上げられた新しい自分を発見することができるのです。なぜこのようにしてまで神様が作られた新しい自分と向き合うようにするのでしょうか。そうすることによって、やっと神様からのミッションに目が開かれて、そのミッションに従って生きるものになれるからなのです。それが今あなたが悩んで落胆しているこの状況、この問題の本当の理由なのです。クリスチャン以外にはそれができないのですが、この世界を本当に正しく知るとなれば、うわべだけではなくて、いいものか悪いものかは別にして、目に見えるうわべだけではなくて、本当の世の中の姿をわかっていて、その世を愛していらっしゃる神様の愛が何なのかも本当にわかっていれば、その人はミッションの人生を生きるしかないでしょう。そのような人にとって歴史と言うものは、ただ流れているものではありません。歴史は、神様のミッションを成就していく時間なのです。また、その歴史の中を生きているひとりひとり自分の人生というものも、何を食べるか飲むか、家族のために、成功のために生きるという人生ではなくて、神のミッションを全うしていくための人生であることに気づくようになるでしょう。それが正常な人間のあり方です。歴史の意味、人生の意味がミッションになるわけです。そういう意味でクリスチャンの私たちが、ミッションという言葉を正しく理解するということは非常に大切なのです。でも、いろいろな機会を通して、ミッションのメッセージを聞きますが、それが負担に思われたり、漠然としたものとなったり、特別な人の話のように思われたりしてはいけません。

ですから、まずはクリスチャンであれば、時代を問わず、民族や国、また人の肩書などは問わず、共通してクリスチャン全ての人にあるミッションというものがあります。それが根本のミッションというものなのです。まず、そこから理解していかなければなりません。クリスチャンである以上、その人が認めるかどうかはその人次第であるのですが、クリスチャンになった以上、誰も1人も例外なくすべての人に共通しミッションというものがあります。それが世界福音化です。世界福音化とクリスチャンである私の人生は、無関係でかけ離れているものであってはいけません。そういうことはありません。神様は最初から世界福音化を目標にして地球の歴史を動かしてまいりました。神様がアブラハムを召されたときにも、ずっと昔のことなのに、あなたによって全ての民族が神の祝福にあずかるようになるとおっしゃいました。それから、それを成就するために、キリストであるイエス様がこの世に来られて、十字架にかけられよみがえられることによって、そのすべてを完成なさった後、最後のメッセージは、すべての民族に出て行き弟子としなさい。万民に福音を宣べ伝えなさい。すべての民族にイエス・キリストを伝えなさい。これが復活したあとのメッセージです。クリスチャンである以上、子供なのか大人なのかは関係ありません。皆に共通して与えられている祝福、神様の契約、それが世界福音化なのです。イエス様が最後の最後に残されたメッセージが、聖霊あなた方の上に臨まれるときに、エルサレムからユダヤ、サマリア全土、地の果てにまで私の証人となりますとおっしゃいました。この歴史は神様が主人です。歴史の主である神様が今も歴史を動かしていらっしゃいます。その歴史がなぜ流れているのか、どのように歴史を動かしているのかというと、エルサレムから地の果てにまで、そのいのちのイエスの福音が宣べ伝えられることのために、それを中心にして歴史を動かしていらっしゃるのです。ですから、共通する根本のミッションから理解しなければいけません。これは、私たちが選択するものではありません。私のミッションは何なのかと、自分のものを見つける以前に、クリスチャンであれば自動的に与えられる契約であるし祝福なのです。なぜかというと、歴史はその理由で今も動いているわけですから。皆さんの人生もそのことのために今動いているのです。今までの全ての人生が、そのミッションのために許されていたものなのです。それなのにミッションと全く無関係な、無感覚な人生を一生懸命頑張っているというには、言語道断なのです。そこに勝利とまことの喜びと、まことの成功などは最初から存在しません。たとえ社会的に成功の座につくことがなかったとしても、このミッションの人生を生きているのであれば、その人は成功ある人なのです。人間というものは、ミッションのために存在するものです。犬や猫とは違います。最初から神のかたちに作られて、神の代わりに、生めよ、増えよ、地を満たせというミッションを与えられて成り立っている存在なのです。それが全て壊れて、イエス・キリストによって回復され、ミッションが与えられて、本来、人間らしい人生を生きることが許されているものなのです。クリスチャンという存在は。ミッションという言葉が、私たちの頭から1秒たりとも離れてはいけません。

そして、その世界福音化を全うしていく方法が何かというと、福音宣教、伝道なのです。これがミッションです。ローマ10:13-15を見ると、福音を聞かない限りは信じることができないでしょう。でも、誰かが伝えてあげない限りは聞くことができないのではないか。その福音を伝える人の足はなんと美しいものなのかという箇所がそこに記されています。神様は、その福音が伝えられること、福音宣教、伝道を通して、これがミッションなのです。Ⅱテモテ4:2、時がが良くても悪くても、みことばを伝えなさいとあります。唇を通して伝えるということがミッションなのです。Ⅰコリント1:21、 神様は伝道の愚かな方法として、人々を助け、また世界福音化を全うしていかれる方なのだと言われています。これがクリスチャンであれば、学歴があるかないか、性格がどうなのか、どこに住んでいるかなど一切関係なく、共通するミッションなのです。つまり、皆さん1人も例外なく、私は世界福音化のために、伝道というミッションのために存在して、そのために生きるものですと毎日告白しなければいけません。仕事が何なのか、どんな専門性を持っているのかは一切関係ありません。根本のミッションです。ここにしっかりと答えが出ていないのに、自分のミッションはなんだろうが、私のタラントはなんだろうか、私は何をすべきなのかといくら考えても無駄なのです。それは白紙にしなければいけません。全部神様から離れて、神のない自分一人の人生の中で、自分で自分を守るためにそこで生まれたものではなかったでしょうか。今でもそれをあてにしてはいけません白紙にまず戻さなければいけません。世の中です評価する成功、幸せ、そのために皆さんは夢を描いて、一生懸命がんばってきたのではないでしょうか。その頑張りは全部無駄なのです。その夢は全部白紙に戻さなければいけません。イエスはキリストなので、何がどうであろうが、それと関係なく、私は無条件幸いのもの、今死んでも天国に行けるものなのです。永遠のいのちを持つものなので、他の条件とは関係ありません。夢が叶うと叶わないとか、私は知りません。イエスはキリストです。その人に神のミッションが与えられます。それが人間です。

そして、その福音宣教を、神様はクリスチャンひとりひとりを証人にして、証し人にしてその福音宣教を全うしていきます。だから、証人になるというのがミッションなのです。イエスの証人です。先ほども申し上げましたように、私の証人となると最後におっしゃって、使徒3:6を見ると、ペテロが言います。足のきかない人に対して、私にあるものをあなたにあげるといいます。ナザレ、イエスの御名によって、自分の中にいらっしゃるイエス・キリストによって。使徒3:15。他にも、初代教会の人々が何かがあるたびに、私は十字架にかけられてよみがえられたイエスの証人なのだと言います。つまり、イベントではなくて、無理矢理、行事を全うすることではなくて、証人なのです。イエス様の代わりなのです。これがミッションの根本です。何が自分のミッションなのかと悩む前に、まず、一人も例外なく人生を生きる理由、存在の理由をミッションに変えないといけません。皆さんの夢はこのミッションのためでしょうか。皆さんの悲しみがこのミッションのゆえなのでしょうか。皆さんの喜びがこのミッションのゆえでしょうか。皆さんの目標が、皆さんのつまずきが、皆さんの誇りが、自慢が、このミッションのゆえなのでしょうか。そうでなければ、それはちりあくたをそのように大事にしていることなのです。つまずく理由もありません。落胆する理由もありません。傲慢になる理由もありません。人の前で自慢したり誇りに思う理由もありません。良いものがあれば、すべてが神の恵みではないでしょうか。弱いものがあれば、それはすべて神の恵みに頼り、イエス・キリストを見上げるための材料ではないでしょうか。なぜ落胆して、なぜ傲慢になったりするのでしょうか。そのようなことに私たちが気を捕らわれて引っかかる余裕などはありません。そうする必要などはありません。ミッションに取り組んで行かないといけません。この共通の根本のミッションをしっかり握った人が、そのミッションが自分のものになるように、自分自身にはそのために何が必要なのか、また、神様は何を求めていらっしゃるのかと問いかけるようになるのです。つまり、ミッションの個人化というものがそのときから求められる内容であって、自分自身に与えられる自分だけのミッションを見つけるためには、まず、ひとりひとりのクリスチャンが、神様によって召されたという確信を持たなければいけません。ただ、たまたま誰かに紹介されて教会に来て、あるいは誰かと会ってイエス様のお話を聞いた、そこにとどまっていてはいけません。神様は皆さんひとりひとりを定めていて、また、選んで召されたわけです。エペソ1:4を見ると、神様は世界の基が置かれる前から皆さんを選んでいらっしゃいました。マルコ3:13-15、イエス様がご自分で望まれるひとりひとりを召されたとおっしゃっています。ヨハネ15:16、あなたがたが選んだわけではなくて、わたしがあなたがたを選んだのだとあります。つまり、神様が召されて神様がお選びになったというのは、たまたまということはありません。必ずクリスチャンひとりひとりに対して神様のご計画があったということなのです。だから、皆さんはただのクリスチャンではありません。この暗闇の世の中から、神様の恵みによって、キリストを通して召されたものだという意識をその自覚を持っていなければいけません。それは裏返しますと、私個人に対しての神様のご計画があったので召されたのです。自分でまだ気づいていないだけであって、それがないまま召されるということがあり得ません。神の道には必ず素晴らしい計画があるということなのです。ですから、召されたものなので、共通のミッションを握って、そのために私に対する神のご計画は一体何でしょうかと聞くわけです。

例えば、ペテロの場合は、世界福音化、福音宣教、証人という共通のミッションの上に立って、ペテロに対しては私の羊を飼いなさい、牧しなさい。つまり、教会の牧会者として世界福音化、福音宣教、証人としてのミッションをあなたは全うしていきなさいと言われたわけです。使徒9:15、パウロの場合は、世界福音化、福音宣教、証人という共通の根本のミッションの上に立って、異邦人のために選ばれた器だと言われているわけです。それがパウロ個人に対するミッションなのです。モーセを神様が召されたときには、この共通の根本のミッションのために、もう世話出エジプトするのが個人のミッションだったわけです。ヨセフは、ヨセフなりにエジプトの総理大臣になって、世界を驚かす、それがヨセフの個人のミッションでした。ダビデは、イスラエルの唯一、最高の王様になって神様の栄光を現すということが、ダビデ個人のミッションでした。これらのようにクリスチャン一人一人、今自分のことをどのように思い、またどのような状況、どのような現実、人間的な条件等を持っているかわかりませんけれども、神様は必ず一人一人に計画を持っていらっしゃいます。まずそれを認めなければいけません。でも、私は今こんなに辛い状況なのですが…。計画がなければ、そのように辛いことも許されません。本当に動かない絶対的なミッション、そして、その上で自分に与えられているミッションを見つけていれば、その辛さもミッションのためであり、嬉しさもミッションのためであり、その人は落胆する暇も余裕もありません。パウロが大きな病気を患って神様にお祈りしていた時に、私の恵みはあなたに十分なのだ、それはミッションのために必要な恵みなのだとおっしゃいました。ミッションがわかっていないと、申し訳ありませんが、本当は人間とは呼ぶことができません。豚と同じではないでしょうか。あるいは、神様のミッションではない別のミッションがあった場合には、サタンのしもべなのです。それは全部、サタンのミッションですから。何のミッションもないという人は、豚のような存在です。人間である限りは、ミッションが与えられています。その自分のミッションを見つけるために、それに確信を持って自分のものを求めて、それを神様に求めて祈ることです。焦る必要はありません。他の人や何かを見て焦って真似をしたり比較をしたりするものではありません。それ自体が、ミッションそのものを勘違いしていることです。例えば、小さな雑貨屋さんがミッションの場合があるし、デパートを経営することがミッションであるかもしれません。みんながみんなデパートを経営するのがミッションということはありません。世界福音化のためには、あらゆるものが必要なのです。でも、今までの世の中の基準をもって、良いものばかりをミッションにしようとしているでしょう。だから、それらを全部捨ててください。共通のミッションがわかって、神様に召されていること、ミッションがあること自体が素晴らしい祝福であるし、神様の御手にあるわけですから、私に対してのミッションはどんなものであれ神様に与えられているミッションに従って、喜んで残りの生涯を歩いていきます。これが正常ではないでしょうか。

だから、自分のミッションを求めるためには、第一に、いつも常に救いを感謝しなければいけません。今申し上げましたように、何をしても私は構いません。このように告白することができるほど、救いの感謝にあふれるようにしましょう。これが自分のミッションを見つけるための第一歩なのです。そして、その感謝の上に立って、今の時代をじっくり見ながら、自分の今までの過去の人生を振り返って、今現在、自分自身にある長所、才能、様々な特技等を参考にしながら、神様に祈りをもって求めていくことなのです。そうすると、神様は御言葉を通して必ずおっしゃって下さるので、それを待ち望みつつ、期待を持っていることなのです。救いの感謝の上でなければ、自分の欲望をミッションだと塗り替えて勝手に思い込んでしまうようになるのです。ミッションとはそういうものではありません。私の場合は、自分で本当にダメな人間だとわかっていたので、救いの感謝のあまり、「神様、残りの生涯は、神の栄光のために生きていきます」と告白しました。ただ何が神の栄光のために生きるのかよくわからなかったのです。それで私には牧師になって宣教師になる計画があったのに、宣教師になるとは夢にも思わないし、牧師なんて私にそんなことができるはずもありませんと思っていたのですが、神様がみことばを通して牧師になりなさいとおっしゃったので、神様に全ての責任をゆだねて、それで牧師の道を歩むことになりました。それぞれ必ず神様がひとりひとりに聖なる世界福音化、福音宣教、証人として生きるための、自分だけのミッションというものを神様が持って召されたので、それは必ず語られるようになります。みことばを通して。ですから、今申し上げましたように、このようなプロセスを必ず踏んで、神のみことばを待ち望むようにしてください。

 そして、それが見つかったときに、私たちがやるべきこと、一番基本的なミッションが何かというと、ここまでのミッションが確認できたクリスチャンの場合に、今、神様から与えられているものからスタートすることなのです。これがミッションです。今与えられているもの、世界福音化をどこから始めるのかというと、また自分自身に与えられている個人のミッションを見つけたときに、それをどこから始めるのかというと、今与えられている皆さんの現場、今許されている皆さんの家庭、今皆さんに与えられている様々な現実、その都合の中からスタートするのです。それがきついかどうかは関係ありません。そこを見て避けるとミッションの基本から外れることです。そして、今与えられている出会いを通してスタートすることです。家族もそうでしょう。友人もクラスメイトも街の人々も友達も職場のいろいろな人間関係や今与えられている出会い、そこからスタートするのがミッションです。それを適当にして、他の何かを考えるというのは、基本がしっかりできていないことなのです。だから、根本のミッションがあって、個人のミッションがあって、基本のミッションがあるのです。基本のミッションというのは、今与えられているところから、今与えられている出会いから、目を背けないようにすることです。

 そして、ミッションの一番の基本は、毎日与えられている今日一日を勝利に導くというのがミッションです。何のためにでしょうか。世界福音化、福音宣教、証人の根本的なミッションを全うしていくために、そして、一人一人それぞれに与えられているミッションというものがあります。そのミッションの人生を歩んでいくために、私たちにとって一番基本的なミッションは、今日の一日を勝利に導くことです。今日のみことばを、今日の一日をただではなくて、みことばによって今日の一日を生きて、祈りをもって、今日の一日を生きて、そして、今日の一日を伝道の思い、伝道の目で一日を生きる、これがミッションです。だから、漠然とした内容はありません。具体的にミッションが与えられています。大げさな大きな事は結果としてついてくるものであって、私たちの夢は大きいものなのですが、ミッションそのものは、基本、ミッションというものは、今日の一日をつまずかずに、闇の勢力に騙されずに一日を勝利へと導くということなのです。そのためにみことばがあり、祈りがあり、福音宣教というものがあるのです。このような基本ミッションを全部まとめて一言で申し上げると、インマヌエルです。インマヌエルを味わうことがクリスチャンのミッションなのです。神様から与えられている最高のプレゼントは、神様ご自身であり、私たちの内側に永遠のいのちがあり、聖霊が宿っていらっしゃることです。神が本当にともにいらっしゃれば、言い訳などいらないのではないでしょうか。今皆さんが悩んで、また自分の頑固や主張、ポリシー等はいらないのではないでしょうか。

 今回、集会の常任委員会の時だったでしょうか。柳先生のメッセージの中で、秘書が柳先生と一緒にいたときに、「今日も、私はそばが食べたいので、柳先生、今日はそばを食べましょう」とは1度も言ったことがないそうです。なぜかと言うと、柳先生が一緒にいるからです。柳先生がメインなので。こちらではありません。ただ自分の家庭に戻ったときに、家族で食事をするときに電話をかけてきて、「今日家族で食事をしますけれども、メニューは何にすればいいのでしょうか」とは聞いたことはなく、それは勝手にやるそうです。なぜなら一緒ではないからです。神様が一緒にいると自分はいません。自分の主張もポリシーも価値観も考えも何もないです。なぜそういうことを言って勝手になるのでしょうか。一緒ではないからです。だから、一緒にいらっしゃるインマヌエルを味わうことが祈りであり、それが私たちのミッションの基本です。正しいかどうかわかりません。大学の集まりでも私は言いました。夢があることが良いことでしょうか。ないことが良いことでしょうか。皆疑いの余地もなく、夢があったほうがいいでしょうといいます。なぜ夢があるのでしょうか。神様から離れて自分で人生を生きるために、それが夢などを持たなければいけなかったわけです。だから、夢を持って頑張るというのは、罪の裏返しと同じものなのです。大学生の時には、徹底的にその部分にけじめをつけなければいけません。だから、私たちは知りません。キリストしか答えはありません。それがキリストオンリーであり、他は全部ちりあくたという意味なのです。夢はなくてもよいのでしょうか。キリストの中にあってミッションが夢であり、ミッションのために夢というものが、その時、白紙の上で新しく描かれるものなのです。それが昔の夢と重なることもあるでしょうけれども、それほど主がともにおられるインマヌエルを味わうということが、ミッションの基本中の基本なのです。

 皆さん、今日から本当にミッションをややこしく思わずに、インマヌエルを味わうことに徹底してください。自分がもうないと告白できるまで。そうすると、神の国が現れます。皆さんがミッションの人生を全うしていくようになります。そこに神様からの素晴らしい勝利の実りを十分に見るようになります。

祈り）

恵み深い天の父なる神様。ミッションと絡んでいない人生は、正解ではないということを教えられました。神様は私たちを愛していらっしゃるし、召されたその時から、ミッションをもってひとりひとりを召されたことを主が覚えさせてください。共通のミッションを先に握って、その上に結論を出し、しっかりその上に立って、自分のミッションを求めつつ、神のみことばを待ち望むことができるようにしてください。そして、インマヌエルを味わうミッションの基本中の基本を、ひとりひとりがしっかりと全うできるように。そして、喜びにあふれるクリスチャンの人生を歩むことができるようにひとりひとりを祝福してください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。